

※正・副2部必要です。副本は受付後返却しますのでコピー可です。

記入例

の2の2の2の3（第4条の2の3、第31条の10関係）

防火対象物

防災管理

点検報告特例認定申請書

届出日を記載

該当する方にをいれる

〇〇年 〇〇月 〇〇日

豊田市消防長 殿

管理権原者

住所

氏名（注）

電話番号

管理権原者（責任者）を記入
（例）会社の代表者
マンションの所有者
賃借人

該当する方にをいれる

下記のとおり、

防火対象物

防災管理

点検報告の特例の認定を受けたいので申請します。

記

防火 管 理 対 象 物	所在地	豊田市〇〇町1-1					
	名称	〇〇ビル					
	管理権原	<input checked="" type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原		複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称			
	用途※1	複合用途	令別表第1※1	(16)項イ	収容人員※1	〇〇人	
令第適用す	不明な場合は、未記入で構いません。窓口でお調べします						
申請者が管理を開始した年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 防火対象物	〇〇年	〇〇月	〇〇日	①		
	<input type="checkbox"/> 防災管理対象物	年	月	日			
前回の特例認定年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 防火対象物	〇〇年	〇〇月	〇〇日	②		
	<input type="checkbox"/> 防災管理対象物	年	月	日			
その他必要な事項	① 申請者が法第8条の2の2第1項の防火対象物について管理を開始した日を記入			② 前回の特例認定の効力が生じた日を記入			
受付欄		経過欄※3					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。

3 ※1欄は、複数権原の場合にあつては管理権原に属する部分の情報を記入すること。

4 ※2欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。

5 防火対象物又は防災管理対象物の所在地、管理権原者が防火対象物又は防災管理対象物の管理を開始した日その他市町村長が定める事項を記載した書類を添付すること。

6 ※3欄は、記入しないこと。

別記様式第1号の2の2の2の3 (第4条の2の8、第51条の16関係)

防火対象物
防災管理 点検報告特例認定申請書

年 月 日

豊田市消防長 殿

管理権原者
 住所 _____
 (法人の場合は、名称及び代表者氏名)

氏名 _____
 電話番号 _____

下記のとおり、防火対象物
防災管理 点検報告の特例の認定を受けたいので申請します。

記

防火 管 理 又 は 防 災 管 理 対 象 物	所在地							
	名称							
	管理権原	<input type="checkbox"/> 単一権原	<input type="checkbox"/> 複数権原	複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称				
	用途 ^{※1}		令別表第1 ^{※1}	()項	収容人員 ^{※1}			
	令第2条を適用するもの ^{※2}	名称	令別表第1	収容人員	()項	()項		
申請者が管理を開始した年月日	<input type="checkbox"/> 防火対象物	年	月	日	<input type="checkbox"/> 防災管理対象物	年	月	日
前回の特例認定年月日	<input type="checkbox"/> 防火対象物	年	月	日	<input type="checkbox"/> 防災管理対象物	年	月	日
その他必要な事項								
受付欄 ^{※3}				経過欄 ^{※3}				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 印のある欄については、該当の印にレを付けること。
- 3 ^{※1}欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
- 4 ^{※2}欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。
- 5 防火対象物又は防災管理対象物の所在地、管理権原者が防火対象物又は防災管理対象物の管理を開始した日その他市町村長が定める事項を記載した書類を添付すること。
- 6 ^{※3}欄は、記入しないこと。